

平成24年度希望総会を終わって

5月26日（土曜日）平成24年度定例総会を開催。

午前10時から始められた議事進行の中では熱心な質疑と提言をいただき、当初の予定時間を若干上回りましたが審議事項についてはすべて承認を受けることが出来ました。

ご多忙の中駆けつけてくださった来賓の方々、熱心に審議に参加してくださった皆様に厚くお礼申し上げます。

総会に引き続き行われた交流会でも出席者相互の親睦がより深められ有意義な一日となりました。

総会・交流会を通じ感じたのは、10周年を過ぎ、逞しく成長を続ける「どんぐり工房」をさらに発展させながら併せてこれから「希望」をさらに充実した機能を持った法人にしなければならないということです。

昨年の3月11日経験したことのない強い振動に体中に緊張を走らせたあの日以降【絆】という言葉をよく耳にするようになりました。

この【絆】には＜紐＞という意味の他に＜結ぶ＞という意味もあると聞きました。

それならば【絆】は震災で被災された方は勿論ですが、被害にあわなかつた我々を含めすべての人が、お互いに固く結び合わなくてはならないものだと考えます。

そして【絆】はより太く、より強く結び合わされ＜糸＞から＜紐＞さらに強い＜綱＞そして固い＜結び目＞を作り、不運にあった人、障害を持ったために社会的に弱い立場に立っているなどすべての人たちが、さらなる悲しみに落ちるのを防ぐ＜大きな綱＞にしなくてはなりません。ただの一人も見落とさぬようなキメ細かい堅固な綱にしていく努力が必要です。

すべての人が眞の平等な活動の機会を得られる社会を目指し、細い一本の＜糸＞を＜大きな綱＞にするために紡ぎ続ける地道な活動。

「希望」にはそれが課せられているのではないか。大きな課題であるが、負けてはいけない。挑み続ける、それしかない。

（ 理事 小林 征司 ）

NPO法人希望平成24年度定例総会報告

5月26日（土）午前10時より四街道市南部総合福祉センターわろうべの里・多目的ホールで副市長武富裕次様ほか6名の来賓を迎えて開催されました。司会の渡邊皓寛理事が開会宣言し来賓の挨拶、紹介の後、福間眞樹理事長が開会の挨拶を行いました。この総会が成立したことを確認し、議長に小林征司理事、書記に戸田由紀子理事、議事録署名人に嶋田恵子理事、畠山静江理事が満場一致で任命・選任されました。議長の挨拶後、議案の審議に入りました。各議案について担当理事、監事より説明、報告がなされ、活発な質疑、応答、提言がなされました。第9号議案・定款の変更の件は挙手による採決となり、出席者の3/4以上の挙手を得て可決されました。他の議案は満場一致をもって異議なく可決成立しました。最後に現理事全員の紹介がありました。審議終了後西公一副理事長の閉会の挨拶があり、午後12時30分総会は終了しました。総会終了後12時50分より交流会に入りました。

希望活動状況、今後の予定

就労継続支援事業B型勉強会 3月31日 どんぐり工房

千葉県障害者就労事業振興センターの有村氏を招きB型について勉強した。有望な事業の情報を得た。
B型移行に向けて検討することになった。

さくらそうフェスタ 4月15日 四街道市中央公園

利用者、ボランティア、職員各1名が参加。 どんぐりクッキー、陶芸品、手工芸品等を販売した。

千葉県障害者福祉事業所リサイクル事業ネットワーク協議会（ちばリサイクルネット）準備会

5月15日（火）14：00～16：00 千葉県庁本庁舎8階会議室

小型家電のリサイクルについて説明会。理事1名出席

リサイクル企業工場見学 5月22日（火）（株）ハイパーリサイクルシステムズ

家電リサイクルの工場見学。 理事3名参加

ちばリサイクルネット発足会 6月8日（金）14：00～16：00

ちば市民活動力創造プラザ会議室

大きなテーブル 6月15, 16日 文化センター

職員3名、利用者2名、ボランティア1名参加。 クッキー、ルバーブジャム、筍、陶芸品、手工芸品等販売

理事会

定例 4月 5日（木）出席者 9名

職員面接 千葉市補助金 パソコン、プリンターの買い替え 就労継続支援B型勉強会

二葉看護学院実習生受け入れ 総会スケジュール

定例 5月 10日（木）出席者 8名

新規会員 消防本部への書類提出の件 新職員採用について 他施設の事業計画について
新職員の採用

定例 6月 7日（木）出席者 7名

正会員、賛助会員の異動状況 ちばリサイクルネット発足会 職員の採用について
総会を終えて

どんぐり工房活動状況

利用状況

3月の利用者数は延べ206人で、23年度の延べ利用者数は2,400人強となり目標数を越えました。4月から新年度になり、新しい利用者目標数を設定し、スタートしました。4月、5月と目標数を上回っています。この期間の工房の見学者は8名、新規契約者は3名でした。

現在提供しているプログラムは作業、手織り、サロン、音楽、書道、農園、クッキング、発送、編集、フリーです。

この中で作業プログラムの内容は、手縫いやミシンを使用しての手工芸です。パッチワークの鍋つかみ、様々なイラストを刺繡した布巾、お手玉、お手玉の中に入れる数珠だまの芯抜き、どんぐりを加工したどんぐり坊やの製作等を行っています。

編集後記：

お金を稼ぐことは人に誉められたと同じような効果を脳に与えるそうです。利用者の脳に誉め効果を沢山与えられるようなプログラムを提供したいものです。（KN）